

項目		
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	ソラフェニブ単剤投与後の肝細胞癌症例に対するレゴラフェニブ投与の有効性と安全性の検討
	研究目的	進行肝細胞癌に対するソラフェニブ投与後のレゴラフェニブの有効性は、海外の Phase II 試験で示されたが、本邦での大規模な臨床試験は行われておらず、本邦での有効性と安全性に関する検証は未だ不十分である。進行肝細胞癌に対するソラフェニブ単剤投与後の二次化学治療としてレゴラフェニブが投与された症例を解析し、無増悪生存期間(PFS)および全生存期間(OS)、奏功割合(ORR)を含めた有効性と治療の忍容性を評価することを目的に本研究を計画する。また、レゴラフェニブ投与中の PFS および OS の延長に關与する因子についても検索する。
	研究対象者	2017年7月1日から2019年6月30日までに肝細胞癌に対するソラフェニブ単剤投与後の二次化学療法でレゴラフェニブ単剤を投与開始された症例
	研究期間	西暦 2020年1月8日 ~ 西暦 2021年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	森本学
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	消化器内科肝胆膵
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	横浜市立大学附属病院・消化器内科主任教授 前田 慎 横浜市立大学附属市民総合医療センター・ 消化器病センター診療教授 沼田 和司 横浜市立大学附属病院・消化器内科准教授 近藤正晃 秦野赤十字病院・院長 田中克明 神奈川県立足柄上病院・院長補佐 國司洋佑 横浜南共済病院・消化器内科部長 岡崎博 済生会横浜市南部病院・副院長 川名一朗 横須賀市立市民病院・副院長 小松和人 大和市立病院・消化器内科上級医長 山本和寿 藤沢市民病院・消化器内科部長 岩瀬滋 横浜保土ヶ谷中央病院・消化器内科部長 京里佳 東海大学医学部附属病院・消化器病内科教授 加川建弘 北里大学病院・消化器内科准教授 日高央 聖マリアンナ医科大学病院・消化器内科講師 松永光太郎